



2021年11月5日

各 位

会 社 名 ソウルドアウト株式会社
 代 表 者 名 代表取締役会長 荻原 猛
 (コード番号: 6553 東証一部)
 問 合 せ 先 取締役 C F O 半田 晴彦
 (電話番号: 03-6686-0180)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月9日に公表した2021年12月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,600	470	470	300	28.67
今回修正予想 (B)	22,600	340	340	100	9.45
増減額 (B - A)	—	△130	△130	△200	△19.22
増減率 (%)	—	△27.7	△27.7	△66.7	△67.0
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	20,447	381	402	174	16.65

(注)「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想は2020年12月31日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しており、今回発表予想は2021年9月30日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

2. 修正の理由

2021年12月期の連結業績においては、前年度に発生した新型コロナウイルス感染症の影響からの回復基調が継続しており、売上高は着実に増加しております。また、中長期での事業拡大を進める組織改革として、本年4月1日より導入したカンパニー制への移行により売上総利益率が向上するなど、業績回復及び将来の成長に向けて着実に前進しております。

その一方で、本年初から複数回にわたり緊急事態宣言が発出され、とりわけ本年8月から9月にかけて、地方を含む多数の都道府県で緊急事態宣言が発出された事により、顧客の広告出稿意欲の鈍化などの現象が見られました。その結果、全体として売上高は堅調に推移するものの、売上総利益率の高い商材による利益獲得が期首想定に及ばず、新規事業への投資等による販売費及び一般管理費の増加を補いきれず、営業利益の進捗が遅延いたしました。更には、固定資産除却による特別損失が発生いたしました。

今般、第4四半期の受注見込み等を再確認し、慎重に検討した結果、売上高は前回発表時の通期予想通りを見込むものの、営業利益以下においては通期予想を下回ることが予想されるため、通期連結業績予想を下方修正いたします。

(注) 上記の業績予想は本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以 上